

平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

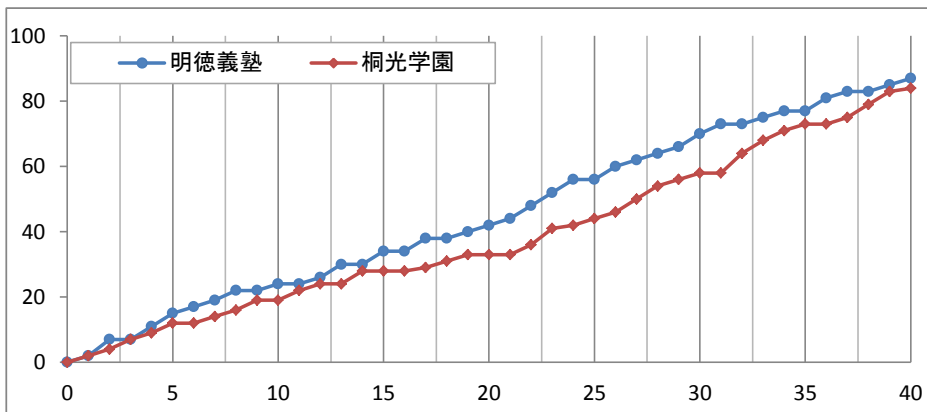
男子 3回戦
主審 福岡 敏徳
副審 古島 尚弥

明德義塾 87 (高知) ○

84 桐光学園 (神奈川) ●

24 - 19
18 - 14
28 - 25
17 - 26
-

No. 31a1 日時: 2013年7月31日(水) 10:00 会場: 別府アリーナ



明德義塾

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 奥野 友章 (C)	8	0	4	0	2
5	* 堀家 和幸	15	0	7	1	5
6	* 村山 龍之介	5	1	1	0	0
7	前田 聡司	0	0	0	0	0
8	盛島 ショーン	2	0	1	0	0
9	濱田 直希	-	-	-	-	-
10	松井 風太	0	0	0	0	3
11	武藤 優太	-	-	-	-	-
12	* 秀島 嶺次	12	0	6	0	3
13	永田 祐也	-	-	-	-	-
14	* AYUEN PETER MAJOK	45	0	20	5	3
15	濱田 雷斗	-	-	-	-	-
コーチ	瀬田 幸穂					
合計		87	1	39	6	16

桐光学園

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 岩坪 康太郎 (C)	2	0	1	0	2
5	* 齋藤 拓実	21	0	8	5	2
6	* 日野 翔太	27	3	9	0	0
7	* 堀口 大翼	15	5	0	0	4
8	鈴木 基弘	-	-	-	-	-
9	* 越馬 悠介	11	0	4	3	4
10	伊藤 大地	0	0	0	0	1
11	柳澤 優	-	-	-	-	-
12	小林 拓	0	0	0	0	0
13	松野 詩夕	-	-	-	-	-
14	松葉 拓斗	8	0	2	4	1
15	佐々木 隆成	0	0	0	0	2
コーチ	高橋 正幸					
合計		84	8	24	12	16

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

第1ピリオド、明德義塾はハーフゾーン、桐光学園はハーフマンツーマンDefでスタート。序盤、桐光学園#9のレイアップで先制、明德義塾#14のゴール下で入れ返し、互角の展開。残り7分、明德義塾#14が連続シュートを決めるも桐光学園も#6、#7の3Pで離されない。明德義塾は#14のポストプレー中心の攻撃で徐々にペースをつかむ。流れを変えたい桐光学園はゾーンに変更、#6の3P等で応戦するが24-19明德義塾リードで終了。第2ピリオド、桐光学園のゾーンが効き始め、明德義塾の得点が伸びない。その間桐光学園は確実に得点を重ね、残り8分20秒#6の速攻で24-24の同点に。その後、膠着状態が続く。流れを変えたい明德義塾は、Defを強めて桐光学園にプレッシャーをかけ、徐々に明德義塾ペースに。#14がゴール下を確実に決め42-33、9点リードで前半終了。

第3ピリオド、明德義塾は#14、#5の連続得点、#12のゴール下の得点でリードを広げる(残り6分56-42)。しばらく互角の状態が続くが、残り3分を切ると、両者のDefも激しさを増しファウルが増える。桐光学園は徐々に追い上げ、#5の速攻からのカウントプレーで残り2分30秒、点差は一けたになる。その後一進一退の攻防が続き、70-58明德義塾リードで終了。第4ピリオド、最後の追い上げをみせる桐光学園は、#5ドライブ後、前線からのプレスでスティールすると#6、#5の連続得点で73-66。その後も一進一退の攻防が続く。桐光学園のプレスが残り3分30秒過ぎから連続して成功。#5の連続得点、#7の3Pで残り1分30秒85-82(明德義塾リード)となる。粘り強くボールを追いかけ残り1秒でマイボールとした桐光学園は、最後の攻撃に全てを託すが#6の放った3Pはリングに届かず、タイムアップ。84-87で明德義塾がベスト8入りを果たした。

© 2011 Yuzo Kosaka All Rights Reserved Vol.007a

記事者 井本 真澄 (所属) 大分県バスケットボール協会